



スカ
イル

レ
ッ

ト

に
生

...

...

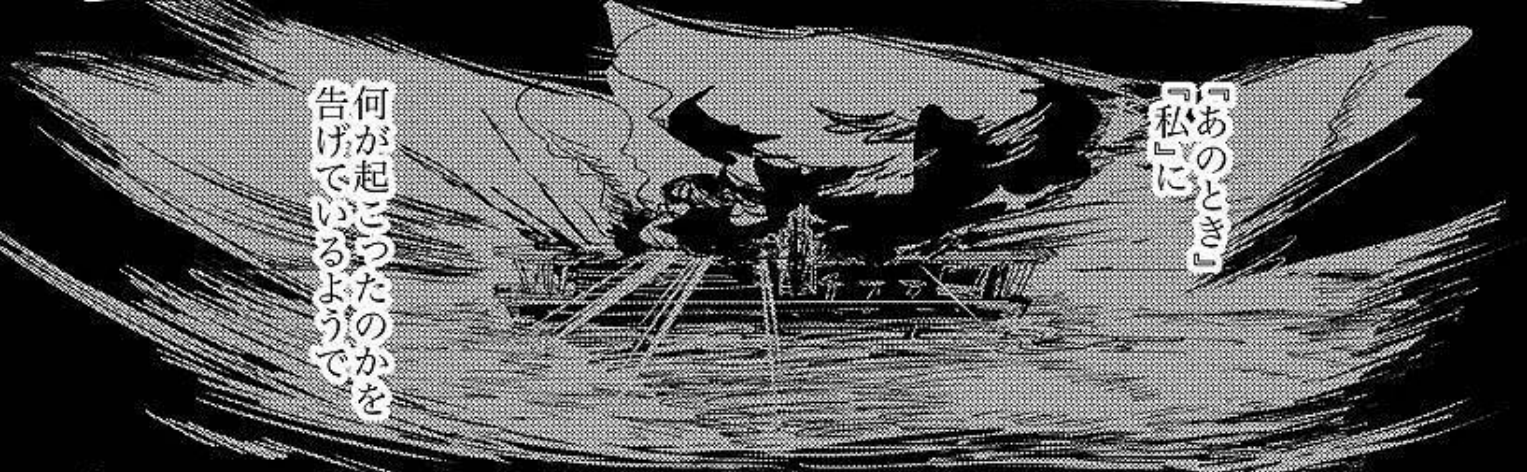
を



「全て」を綺麗に
覚えていたわけでは
なくて



しかし
「頭」の中に
響く轟音が



「あのとき」
「私」に

何が起ったのかを
告げているように



頭の中で…
何が…

それを
無いものにする事など
できるはずもなく

…っ

この両の足で
海に立たねばならない、



それがなんとも
心許ない様に思いました。

スカーレットに告白を



おっそろしいなあ

うわまたニヤけてる

…ッピ

ああいう人のために『変態』って言葉があるんだなあ

だなあ

ヒへへ



もう俺らこれで上がりですよ

ミヤさん本当仕事好きですよねえ



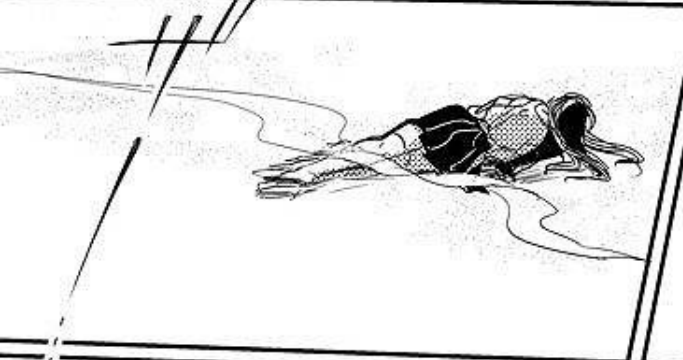
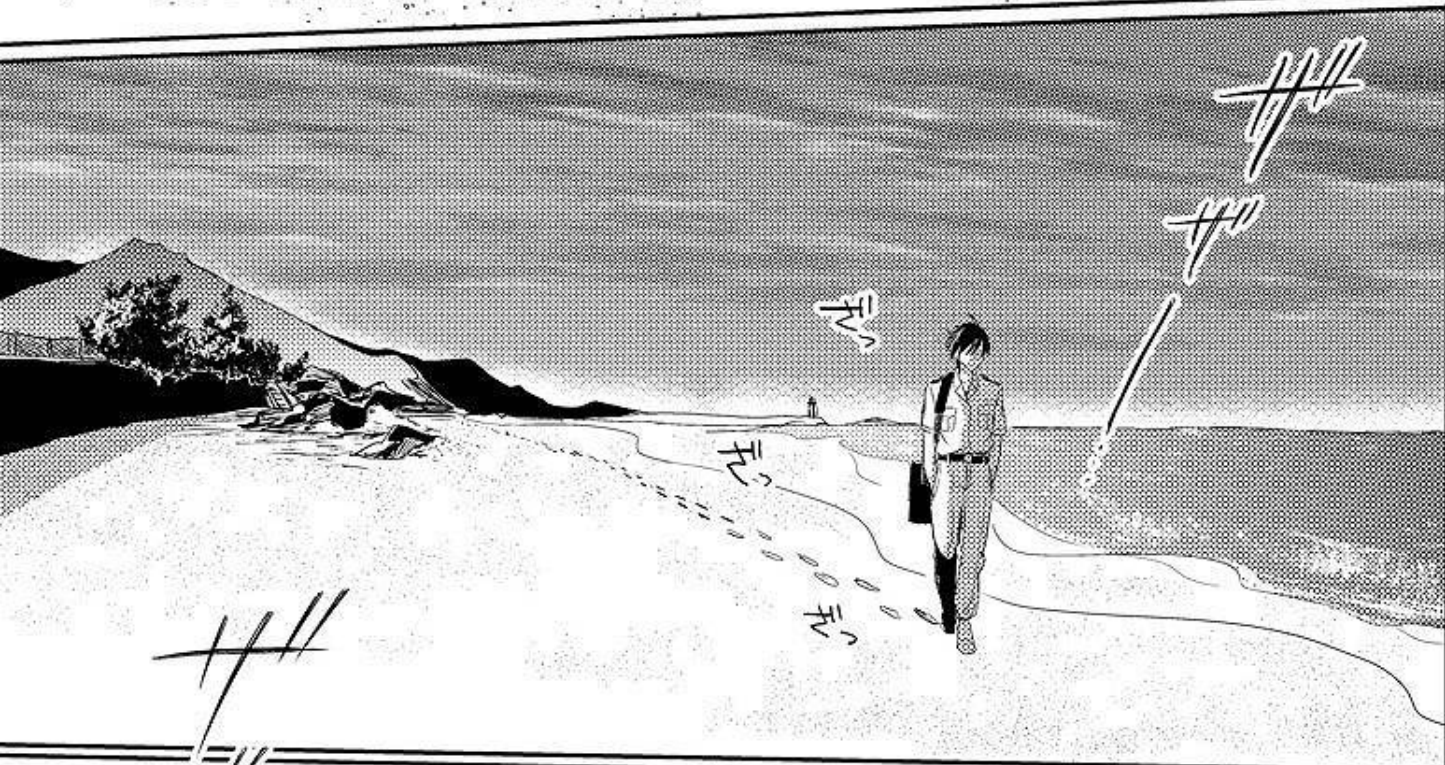
無駄口叩かんで仕事をしろ仕事を

聞こえてるぞ

うわ出た地獄耳

海軍 第五観測室 室長 雨宮 誠 大尉







.....ん...?

大丈夫ですか!?

だっ...

ッ.....

.....!!
生きてる...!!





ヤヤヤヤ ヤヤヤヤ

ヤヤヤヤ ヤヤヤヤ

大変だ!!ミヤさんが
人間に惚れたって!!

へア!?
あの深海狂いがア!?



ヤヤヤヤ ヤヤヤヤ



あなたは一体……

何者ですか?



散りなさいって
見せ物じゃないん
だから

浜に
倒れてたんだって





……大佐

いったん部屋を
出ませんか



何度きいても
こうです

……？



ようやくまともな
春が来たんじゃないかあ
喜ばないのか？

この世に
まとももクソも
ありませんよ



あの……大佐は
私が本当にヒトに惚れる
ことがあるなんて
思いますか？

真顔で何を
言い出すんだきみは



……いつだったか



少し前に妙な
通達があったじゃ
ないですか

『かつての海軍の
艦艇を名乗る娘』
を見かけたら
報告しろって

ああ、
そんなことも
あったなあ……



しかしあれ以降
何も追加指示は無いよ

横須賀にその『娘』を
集める機関が立ち上がって
るっていう噂はあるが…

なまのこ

こちらがその『娘』を見つけて
報告するまでその『機関』とは
繋がる事ができないようですね
…上はよほど慎重らしい



…まさか
彼女がその『娘』
だと？

まだ
名前を聞いていないので
確証はありませんが…

なぜ
そう思った？



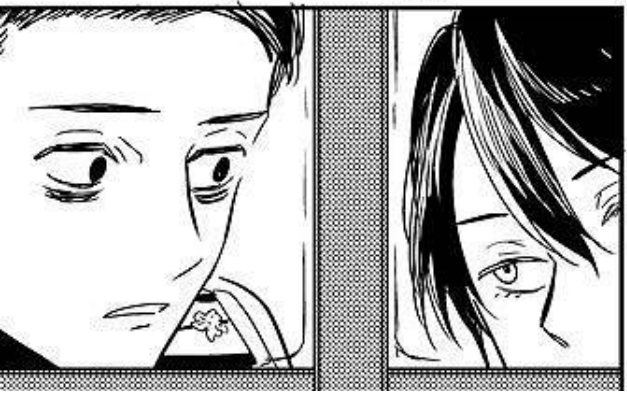
でも…
空母ってほら

着艦標識のところに
識別記号が一隻ずつ
ついてますよね？



…大佐
旧海軍時代の航空母艦は
何隻あったかご存知ですか？

空母お？そりゃあ…
大小未完合わせれば
そこそこの数だろう



はい
そこそこの
数です

待て…仮に彼女が『あの艦』の名を名乗るとしよう

じゃあなぜこんなお嬢さんが『あの艦』を知っているんだ
今時の歴史の教科書にはミッドウエーで沈んだ艦の具体的な名前まで載るのか？

いえそもそも『艦艇を名乗る娘』という文章自体が妙です

名を明かすことは即ち自分が何者であるかの表明
…『娘』が『艦艇を名乗る』なんて文章通りに解釈すればその『娘』と『艦艇』がイコールでなければなりません

そこで

その横須賀が集め始めている『艦艇を名乗る娘』ってやつは

人間ではない存在だとはいえ考えられないでしょうか

それなら上が慎重であるのも納得できます

…私は彼女を見たとき撃ち抜かれるような衝撃を覚えました

深海棲艦を見つめるときの様な…いや違うな

深海棲艦の瞳の光が恐ろしい力に満ちた居心地の良い誘惑であるなら

彼女の瞳に揺れるのは…別の何か





もし彼女が本当に
『あの艦』であるなら…



彼女はその名を
誇りもろとも

あの海に
置いてきたままなのでは
ないでしょうか



……美味しい！

げ



この基地の厨房を
あずかる奴らは
腕が良いんです

これ
お気に召したの
なら私の分も
どうぞ

じゃ
俺も

俺もー

いいんですよ
俺らには
ミヤさんの奢りの
酒があるんで

えっでも



たくさん飲め

……いいんだよ
何でも



約束したからな

でもあれは
ミヤさんが「人間」に
惚れたらっていう

いいんだよ

凄いなあお嬢さんは
この変態を
ここまで魅了する
なんて

変態だけど
優秀な人ですよ

ミヤさんは深海棲艦に
欲情する変態ですが
深海棲艦に関するデータ
読みの早さと正確さこそが
ド変態たる所以です

変態だけど俺らの
大事な上官です！

私が温厚で優しい
人格者であることに
感謝しろよお前ら

シンカイ
セイカン…

敵なのですか
あなた方は戦争を
している…？

戦争…では
ないでしょうね

深海棲艦とは対話できません
彼女たちはどこからか
やって来て『艦』を標的とし
またどこかへと去る
我々は自然の脅威に似た現象を
相手にしているのです

臆病者と罵られようが
艦の速力を上げて
防衛と撤退に専念する

なけなしの輸送路を
護るためにね

幸いと言っているのか
本土を直接攻撃してこない
のですか

それは深海棲艦にそれだけの
知能、作戦意志が無い……
もしくは彼女たちの狙いは
あくまでも『艦』であると判断
されている理由の一つです

まあ我々が対峙できる
深海棲艦はごく手前のもの
だけなので
彼女たちの棲む奥地に一体
何が待っているのかは
分かりませんけどね

今後もしかしたら
戦略的な行動を……
なんてことがあるかも
しれません

「観測室」とは
その敵を？

はい
深海棲艦を観測して
データを収集解析する
部署で全国に在ります

うちは
基地の立地上
佐世保の管轄ですね

さきほどの堂島大佐が
指揮する航空隊は
艦隊司令部の隷下に
あって

ちなみにあの
目の下のクマは
十年以上とれん
そうです

竹即電!!
竹即水!!!

あら
なんてこと

おっくい
雨宮室長

噂を
すれば
ですね

すまん
ちよつと
行ってくる

『横須賀鎮守府』
から返事がきたよ

鎮守府う？

そんなの昔も昔に
廃止されて……

いや新たに
例の『娘』たちを
集めて統括する
機関の名前として
採用されたらしい

でその責任者が
空路でこちらまで
確認しに来るそうだ
明日の朝一でね

ちゅうらう

文字通り
飛んで来るわけ
ですか

ああ

それほど彼女を
重要視する訳も
分かった

彼女は……
彼女たちは戦える
そうだ

深海棲艦と



え
この辺りには
又級もヲ級も
出ませんよ

：で加えて
近海での敵空母の出現
に注意しろ、ってさ



だがそれによれば
どうも彼女のような娘たちは
深海棲艦出現海域に多く
現れるそうさ



つまり彼女が
ここに居ると
いうことは…

……
!!



『彼女たち』は
海上に現れる
らしい

彼女も概ね
海上に出現した後
漂流して浜に打ち上げ
られたのだろう

それを
きみが見つけた

警戒レベルを
上げます

それを
言いに来た

無事に彼女を引き渡して
『鎮守府』の戦力とすれば
山元少佐の戦略も
変わってくるだろう

…どなたですか？

『横須賀鎮守府』の
司令官だよ

昔同じ艦に
乗ったことがある

随分なやんちゃ坊主
だったが……

まさか
そんなポストに
就いてるなんてなあ





ええもし本当に『彼女』だとしても…

その意志が戦いを
選ばないのなら
私が会う理由など無いわ



…
…
…
それとも
なに？



私が対空戦闘を鍛えた
護衛艦隊だけでは
提督はご不満？



万一あちらで何かあって『彼女』と海に出ることになってもきつと護れるはずよ

そんなに心配なら一緒に行きませんか？

その手には乗らないわ私には行かないと言ってるの

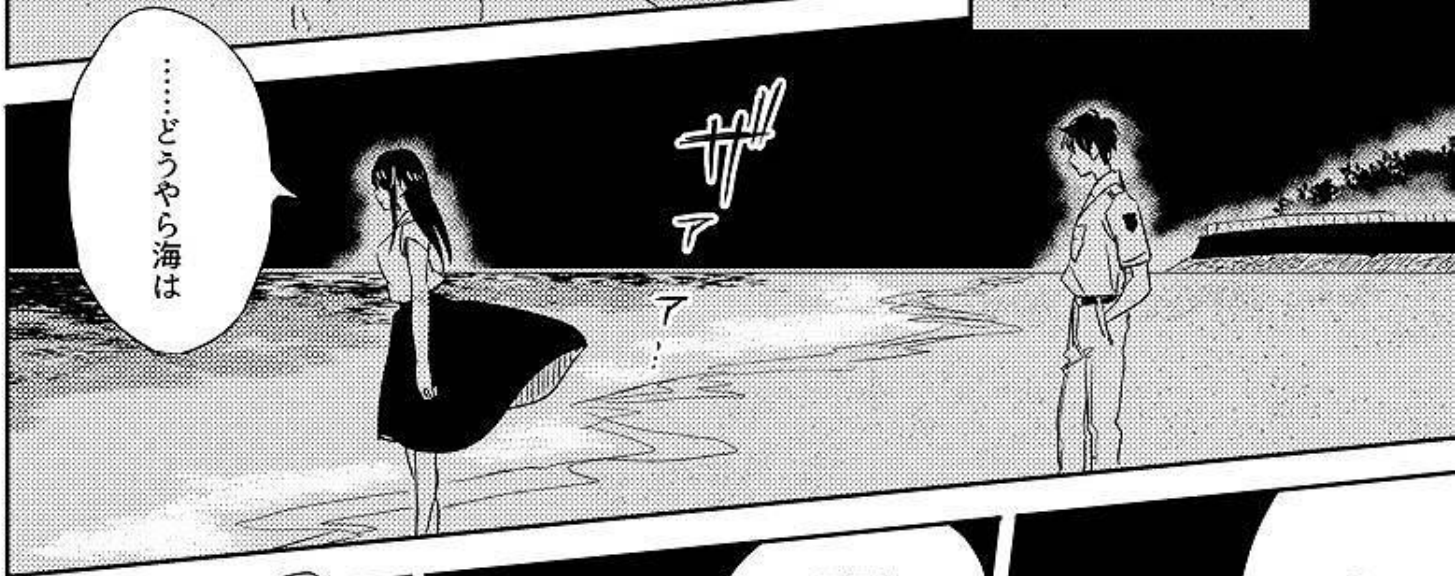
……待ってるわ



私は鎮守府で

『彼女』を待ってる





怖い……？

ええこんな
性分なもんで
昔は苦労
しました

いや……人間関係に
恵まれていなければ
今もどうなっていたか
分かりませんけどね

あなたを見たとき
自分だって人間に
惚れることができるの
だと勘違いして一瞬
嬉しくなったのですが

それはつまり私が
根に抱えている孤独を
拭えていない証です

一度孤独を味わえば
それはずっと付き纏う
のだと知りました

……でも今この瞬間は
そんなことも忘れる
くらいに胸が熱い

なぜならあなたが
こんなにも美しいから

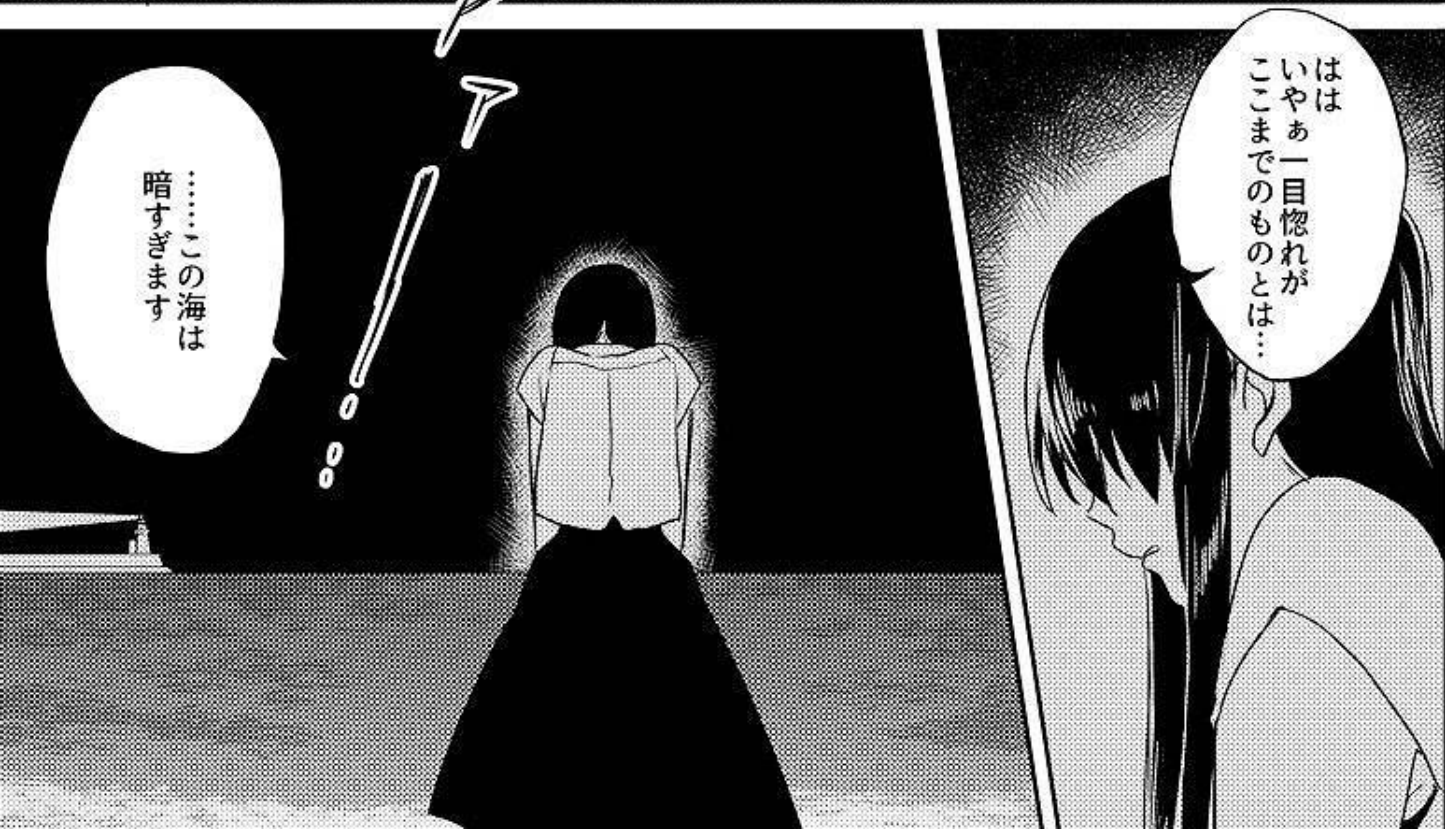
面白い人ですね、
雨宮さんは

……こんな気持ちは
初めてですよ

あなたが
あなたの
求める道を
歩めることを

ただ
ひとえに
のぞみます

——
赤城さん



もっと暗くなりますよ

夜更けはこれからです

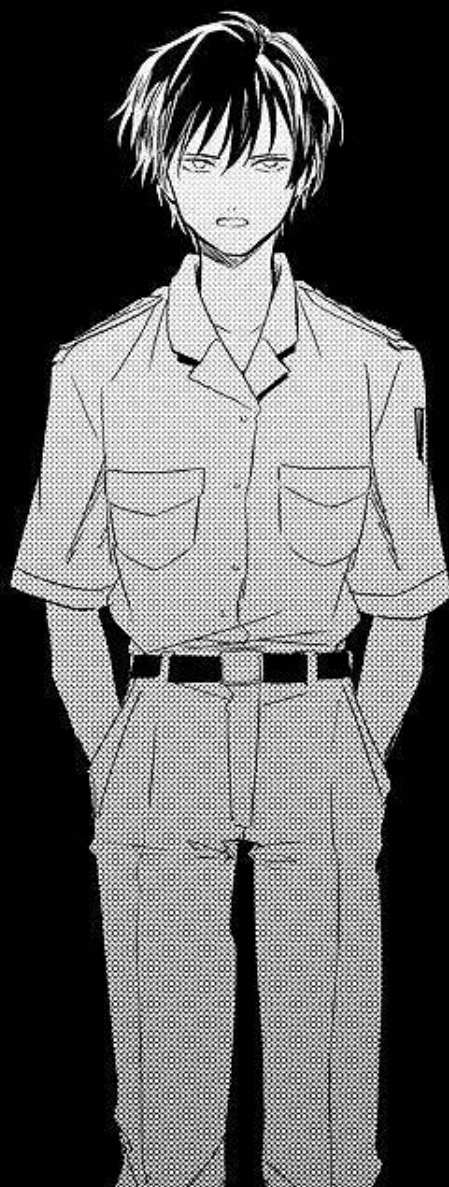
…なぜだか
あなたと出会って
思い出しました

昔一人でどうしても
眠れない夜があった
なあって

確かそのとき……
私は泣きました

大きな声で
泣きました

その声を自分できいて、
ようやく自分が生きていて、
ことを自覚したのです





そのときに
決めました

他の誰でもなく
私が私の味方で
なければと

だから今こうして
生きていられる自分を
私は誇りに思うのです



……
雨宮室長

深海棲艦の…資料を…
見せていただけませんか



会議室で
待ってます

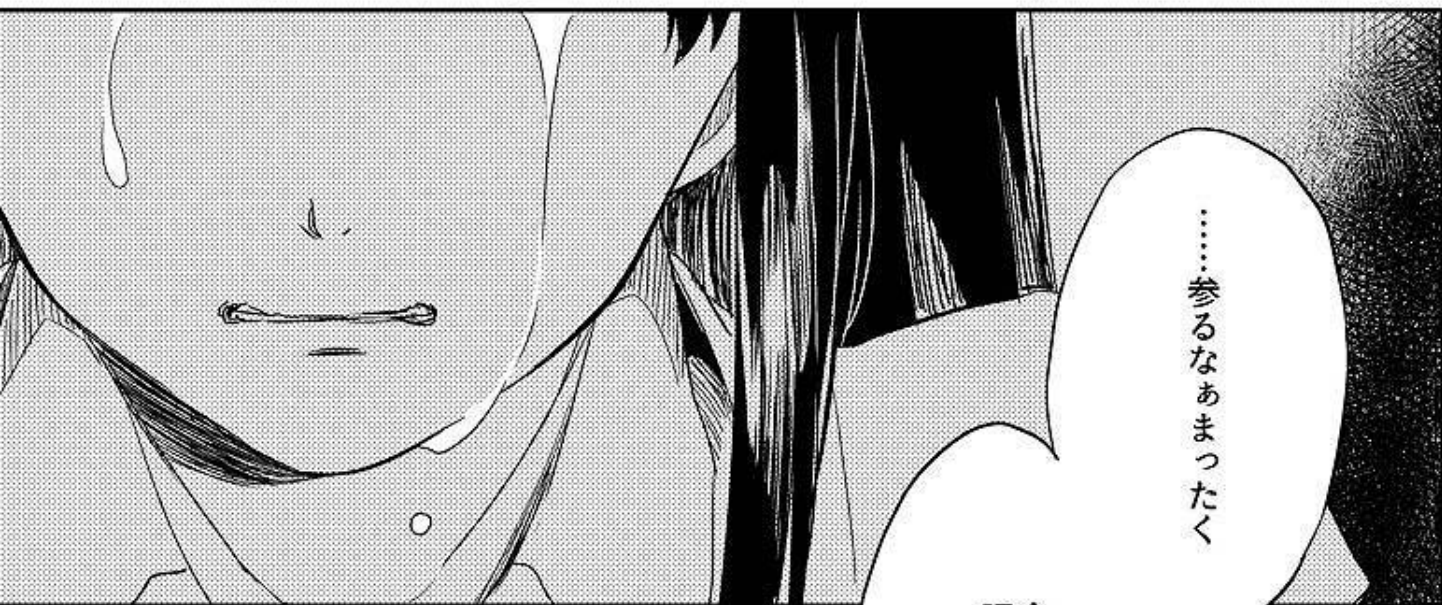
勿論







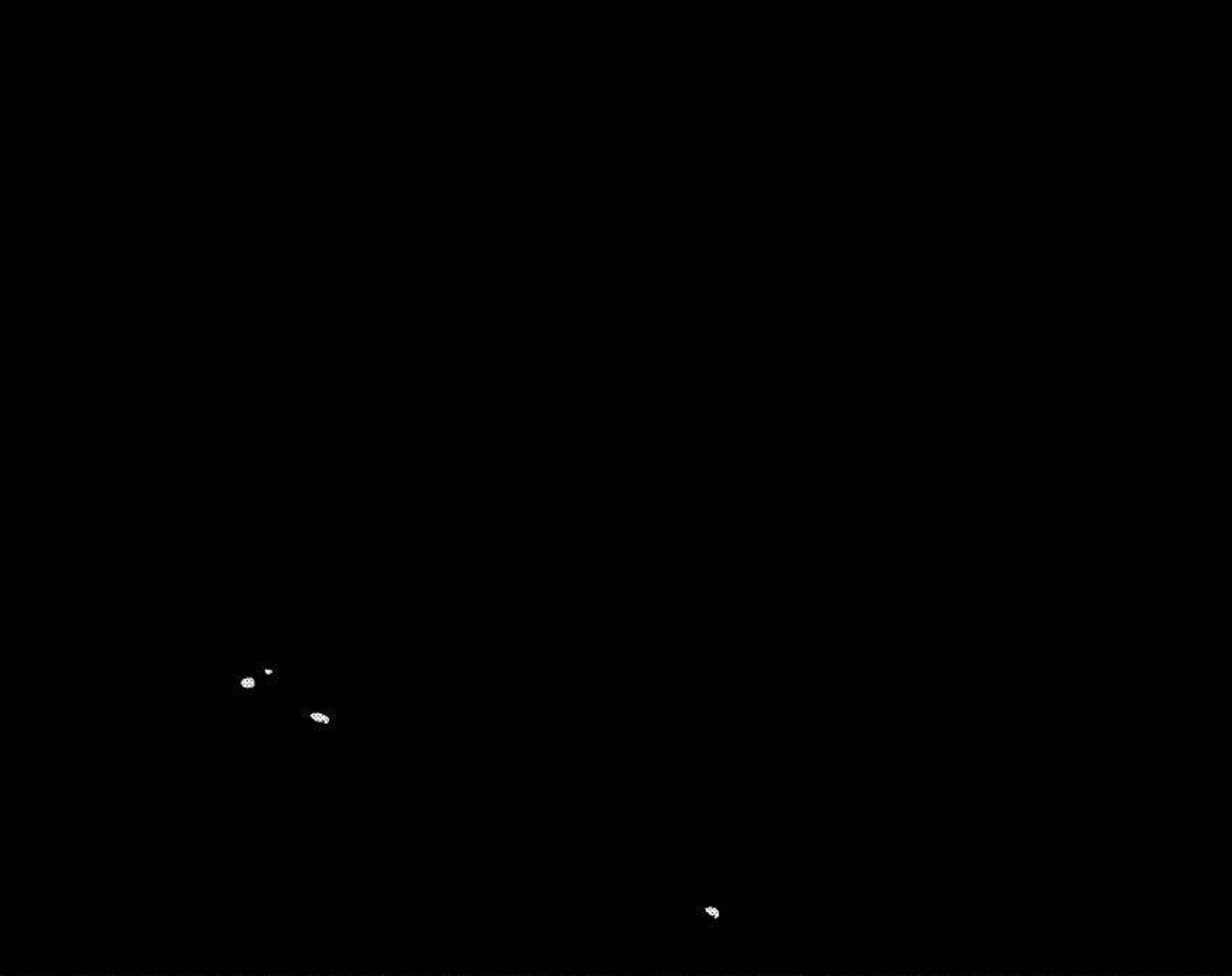
いかり
錨はもう
上がっています



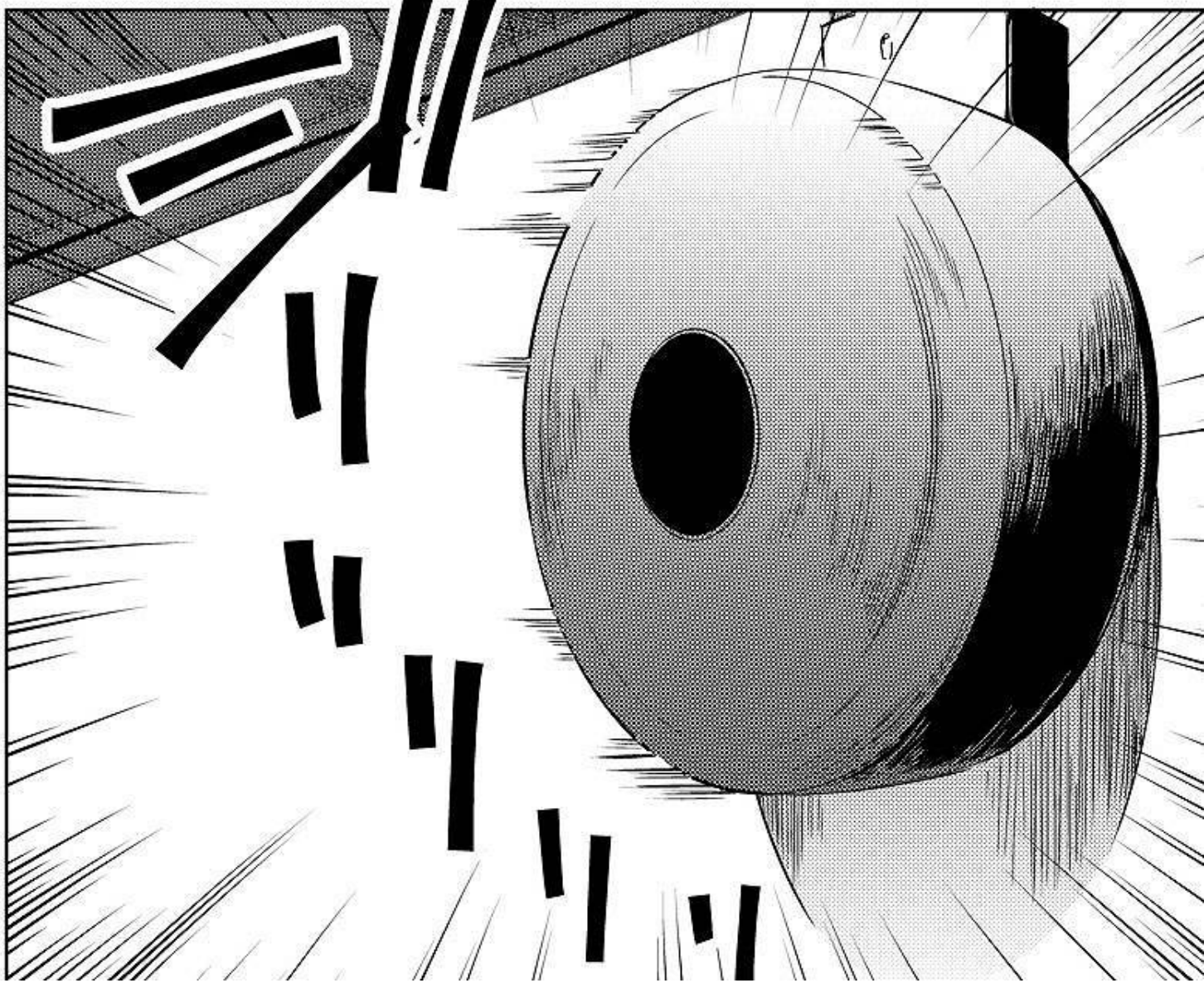
……参るなあまったく



今夜は
眠れそうにない









私が出撃します

このまま先手を
とりましょう

お言葉返すようですが
その司令官の乗っている
機体が着陸できなければ
どうしようもありません

滑走路が潰されないと
断定するのは早計です
引き返していただかない
のなら私に出撃の許可を

いいえお嬢さん
正直に申し上げるが
あなたは現在戦力に
数えられていない

我々の任は今こちらへ
向かっている『横須賀鎮守府
の司令官』にあなたの身を
無事引き渡すことだ

あらゆる可能性を
考慮した上での
空路という判断だ

本土上空まで敵機が
来る確率は非常に
低い

今回もそうとは
限りません

仮に来るとすれば
ここも空港も敵機の
航続圏内である可能性は
あります

そのときは北部に降ろし
陸路で合流すればいい
仮にお嬢さんに出ていただく
にしても護衛艦隊が到着
した後だ

では山元少佐の
乗っている機体が
狙われたら？

深海棲艦の狙いは
「艦」なのでしょう？

護衛艦隊を見殺しに
することは
大変な損害を生むのでは
ないでしょうか

私の艦載機が敵機を
封じればそういう危機を
回避できます！

…お願いしますが、
後手に回ってはい
ならないのです!!

…私は…



私は

航空母艦！
赤城です！！



……
ふうー……

：艦載機の
数は？

!!!



……全員聞け

なんとか
トリオって
やっただ

うわっ
ガチか

『零戦』と『九九艦爆』が
18ずつと
『九七艦攻』が27です




これより
敵機動部隊の捕捉・
殲滅を図る



護衛艦隊到着後の
反攻を主作戦とし



先ずは赤城戦闘機隊
により敵航空戦力の
迎撃を行う



…いいか
艦隊到着までは
全て我々の腕に
かかっている



各員己の
技術に誓え

『赤城』の路を
みち
決じ開ける!!



なんだかんだ
やっぱり海の方が
落ち着くなあ……

そうね……

でもまさか
一人でもう
出たなんて



昨日の話じゃ
その『赤城』はよオ

覇気の無え
ポンコツなんだろう？

ホントに
大丈夫なのかよ



なんでもいいから
早いとこ合流しなきゃ

……心配？

そりゃあ…
もうね……

!!!



零戦だ!!!

ゴ
ゴ
ゴ

…無事なようで
何よりです

この声…!?

居た!!
あそこ!!

おいおい……

どこの誰が
ポンコツだ…?

……あなたが…

あなただが

赤城さん……!!



敵の艦載機は
今のでほぼ撃墜した
ものと見られます

ぱねえ

基地の皆さんとの
連携で敵本隊の位置も
掴んでいます

あなたたちは？



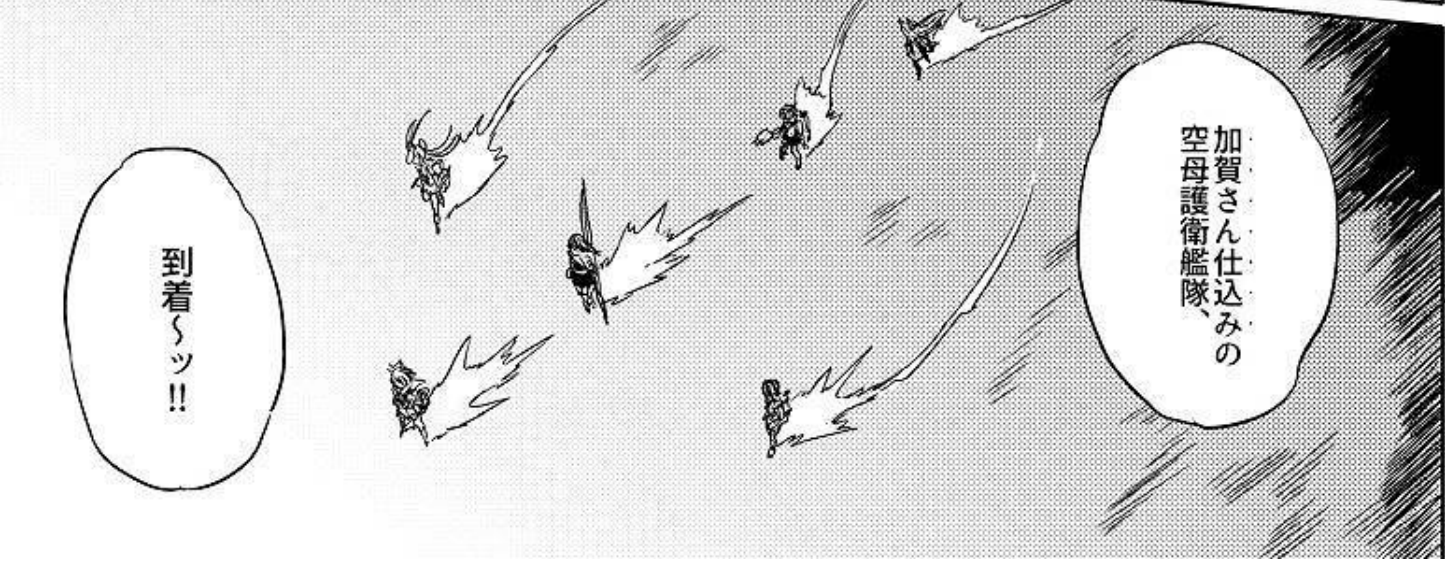
旗艦 重巡摩耶！

以下
軽巡長良

阿武隈

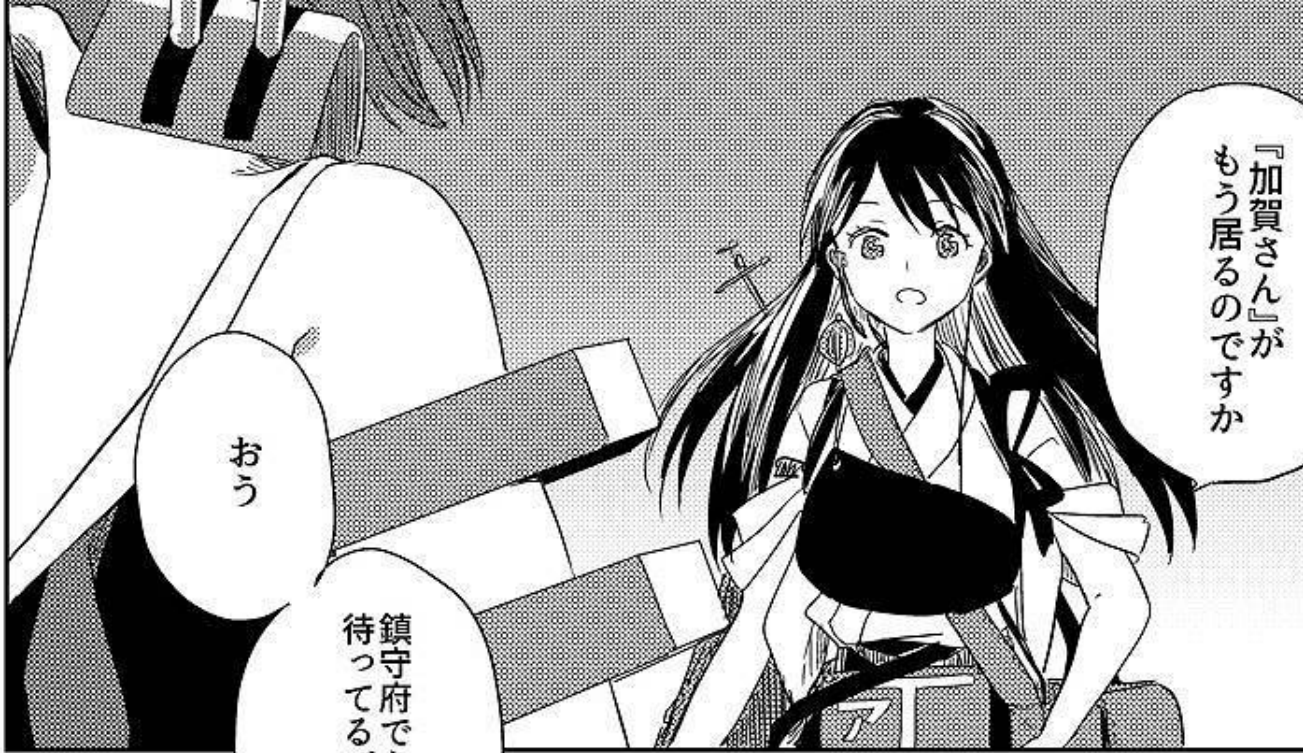
駆逐艦
吹雪

叢雲



加賀さん仕込みの
空母護衛艦隊、

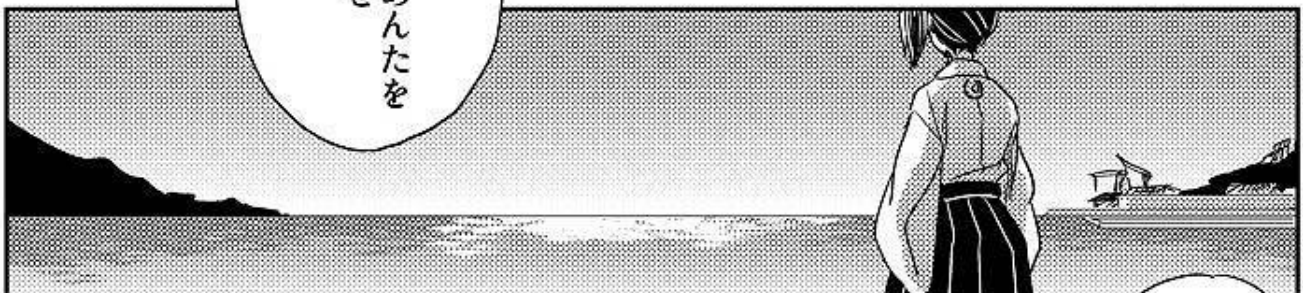
到着ッッ！！




『加賀さん』が
もう居るのですか

おう


鎮守府であんたを
待ってるぜ



無愛想に見えっけど
たまーに笑えば
すげー可愛い



早く
会いに行かなきゃ
なりませんね



…そうですか

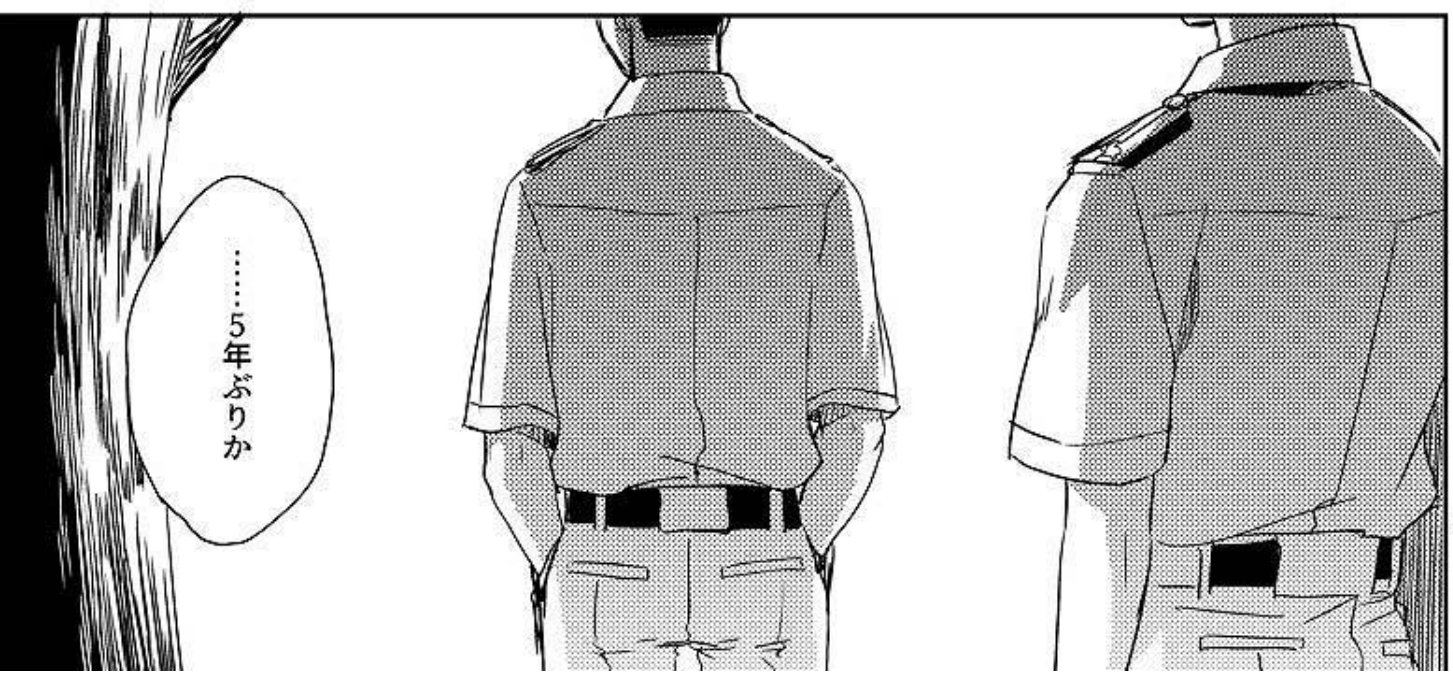
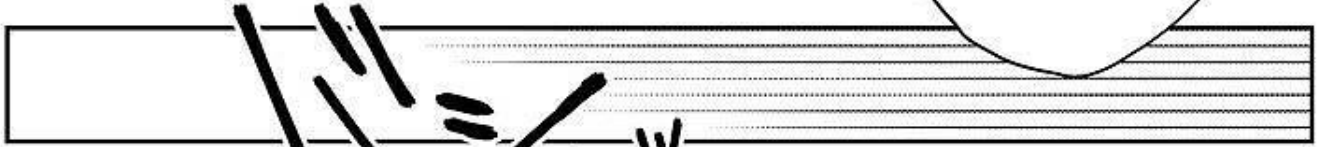


そのためにはまず
あの基地に帰らなきゃ
なんねーぜ

ええ



賑やかなお食事が
待っていますからね



……5年ぶりか

相変わらず
元氣そうだな
山元お

お前みたいなやんちゃ坊主なら
あのお転婆なお嬢さんたちと
反りが合うんじゃないか

いやあ
あはは

堂島さんは相変わらず
目の下真っ黒ですね

『赤城』を出す場合と
出さない場合両方の
作戦を一晚かけて
仕上げたからな

……すごいな

『素敵の鬼』は
健在ですね

やめなさいから…
恥ずかしいから…

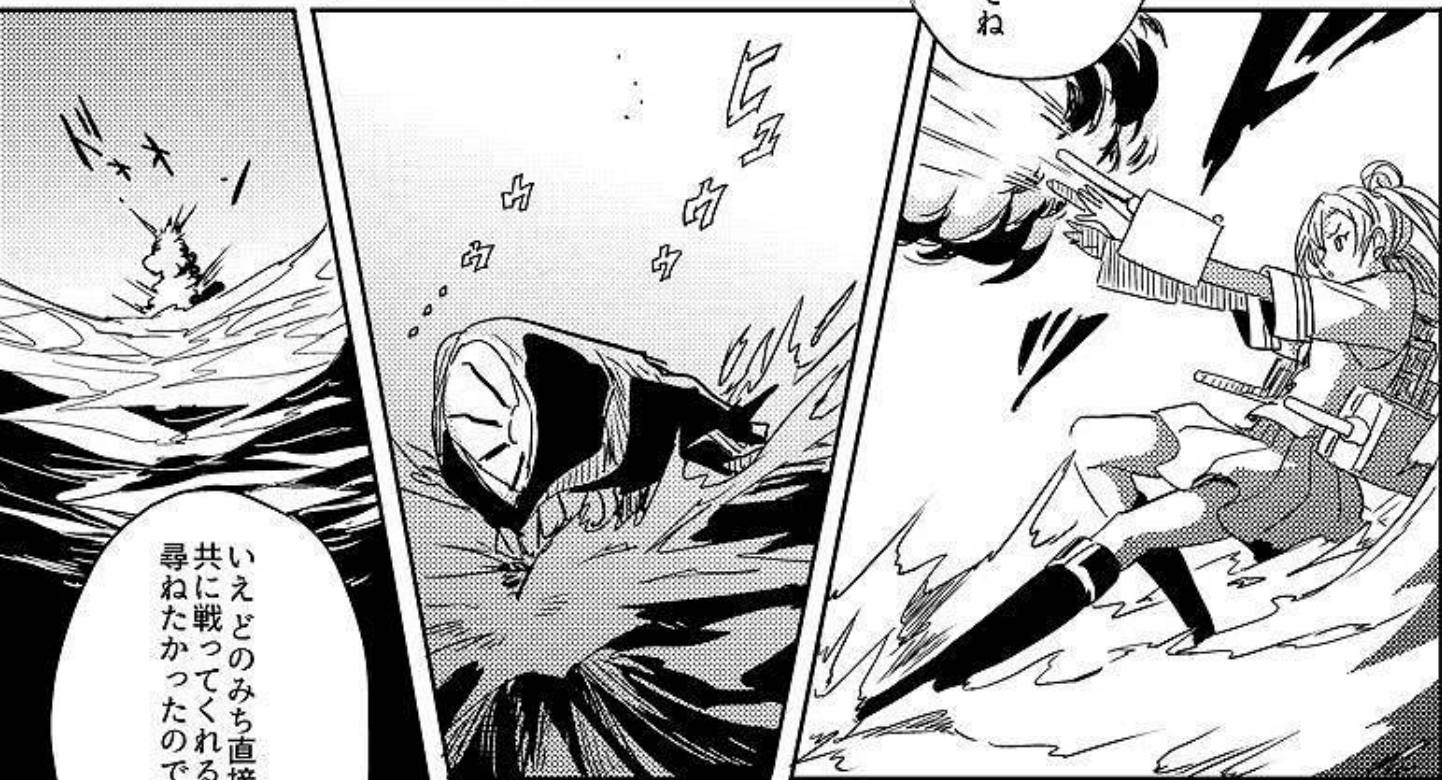
もう飛行機には
乗らないんです
か？

ああ
現場は左腕が
持たん



彼女が「赤城」だと
確定したのに
来てもらって
すまなかった

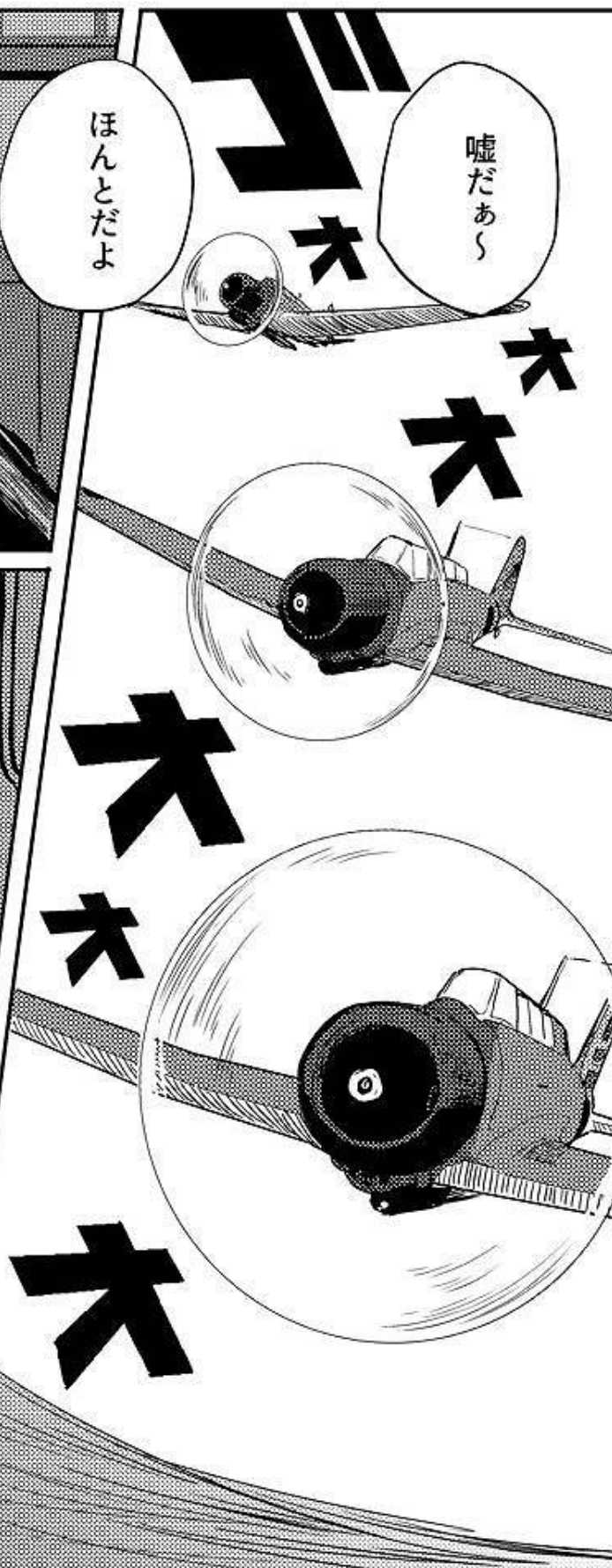
近場に深海の空母が
居たんじやいよいよ
眠れなくなるから
潰せるなら潰したくてね

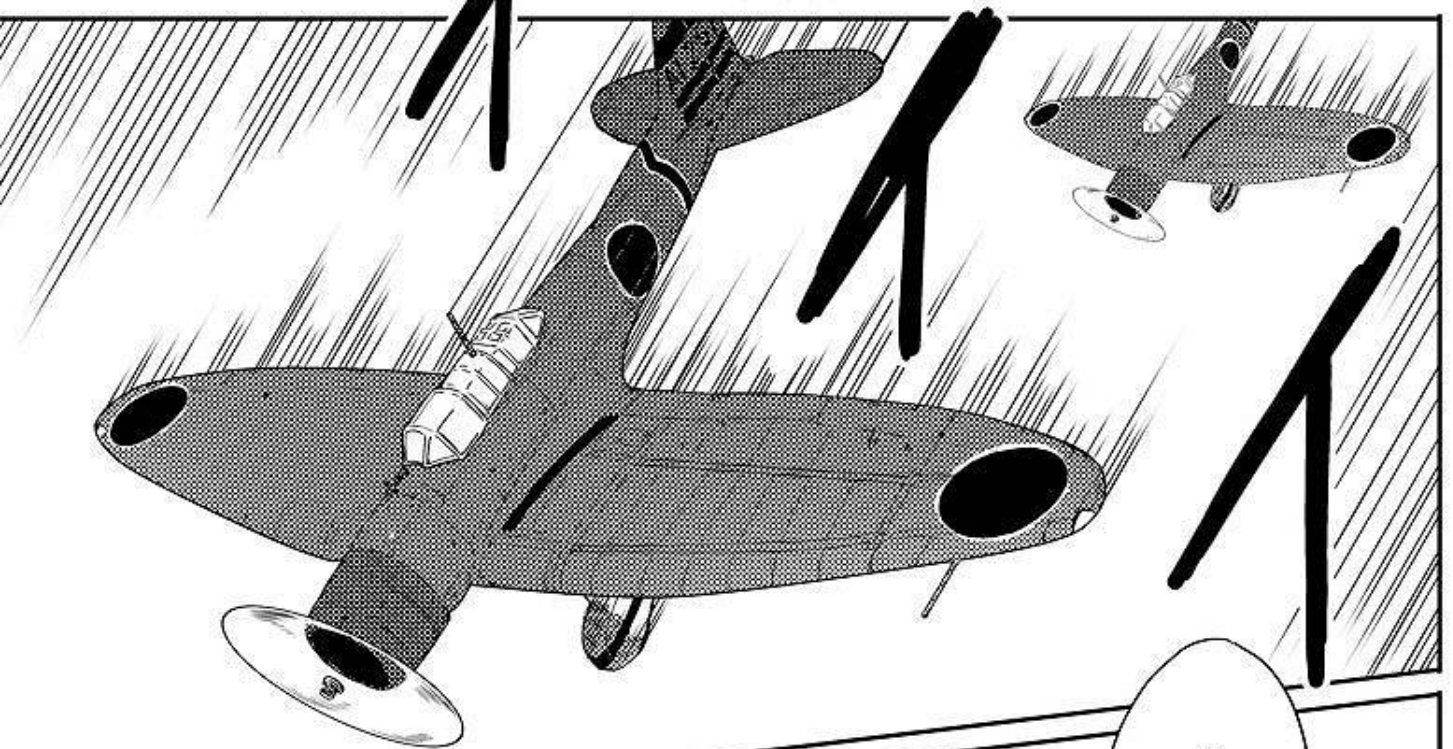


いえどのみち直接会って
共に戦ってくれるか否かを
尋ねたかったので

……その必要も
無くなってみたい
ですけどね







じゃあ

赤城さんは
どうやって
それを……？



…さあな



敵機動部隊撃破!!!
敵機動部隊撃破!!!





…どうですか
赤城さん



ふうー…
ウオーッ

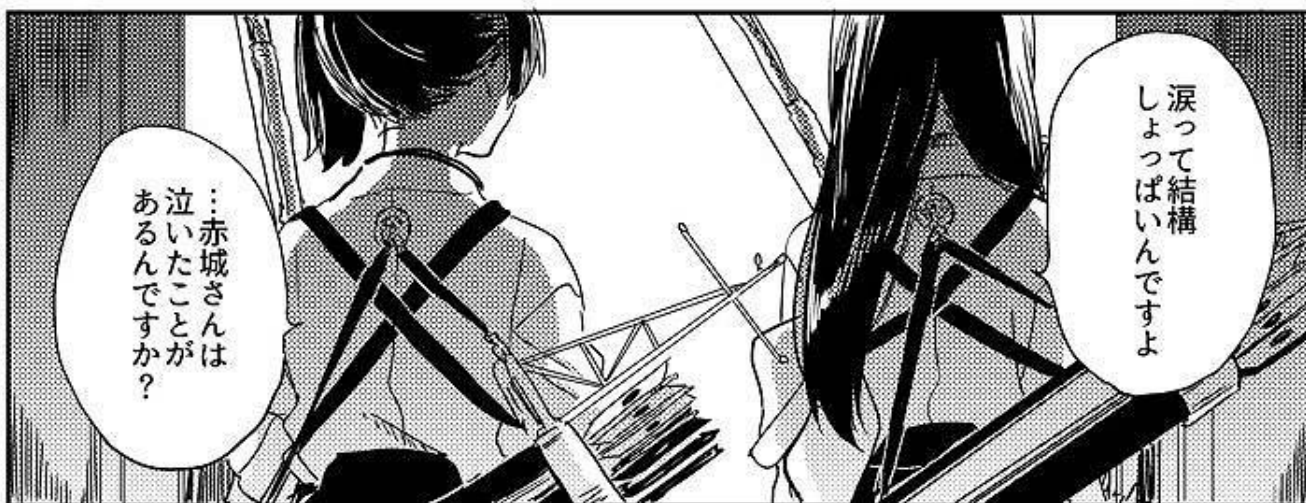


朝焼け、すっごく
綺麗でしよう？



……ねえ

加賀さんは
知っているかしら



涙って結構
しょっぱいんですよ

……赤城さんは
泣いたことが
あるんですか？



……あら
うっかり

他の方には
内緒にして
くださいね

：私あのとき
気付いたんですけれど

きっと誰もが
強く生きるための力を
持っているんだわ

でもそれを
見失ってしまったり
信じられなくなつて
しまうこともある

再び
掴みなおすのも

抱え続けるのも
簡単なことじゃない



だからきつと
その力のことを
人は

『誇り』と
呼ぶのね



…あなたがあの日
鎮守府に来てくれて
本当によかった

ありがとうございます
ございます
赤城さん

加賀さんも
ありがとうございます
ございます

おーい！









スカーレット に告白

Special Thanks! … Hzさん(ロゴ制作&表紙配置)
全力炒飯(九七艦攻モデル組み立て)
びすきさん(情け)

サークル名 : アロハニッケル
発行・執筆 : deco
発行日 : 第1刷 2016年 8月13日



※登場する人物、団体、土地等は全てフィクションです。
※作中における台詞や設定は、いずれも実在する(した)ものに対しての意図を持つものではありません。

媒体問わず転載、複写、加工等は固くお断りします。